

長崎大学経済学部

学術・研究活動及び学外活動報告

平成18年

青山 繁

[学術・研究活動]

<学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>

- ・『日本の経済発展と政府の役割』, 上海财经大学国際工商管理学院, 2006年10月31日, 上海财经大学

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・長崎大学公開講座『世界と日本の経済動向-2006年秋』にて, 「ラテンアメリカ経済の現状と課題」を担当, 2006年11月24日, 長崎大学経済学部
- ・長崎県高大連携事業, 「経済学と経済発展」, 2006年6月17日, 長崎県立壱岐高等学校

赤石 孝次

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“Consumption Taxes and the Welfare State in Sweden and Japan,” Sheldon Garon and Patricia L. Maclachlan, eds. *The ambivalent consumer*, pp.213-235, Cornell University Press, 2006 (共)

<科研費(採択のみ)>

- ・「グローバル化下の日米税制比較分析」(単), 平成18年度~平成20年度。

阿萬 弘行

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「自己資本比率と銀行の増資行動」(共著), 『証券経済研究』日本証券経済研究所, 第55号, 2006年9月

<報告書>

- ・「日本企業の経営者報酬インセンティブについて-既存市場と新興市場の比較分析-」(単著), 『現代日本の金融システム-金融市場と金融政策』金融システム研究会(川口慎二・古川顕編), 第12集, 2006年3月

<科研費(採択のみ)>

- ・「企業デクローチャーと株価の情報精度に関する実証研究」(単独), 平成18年~平成19年

<学会発表>

- ・「日本の投資信託市場への資金流出入について」(単独), 応用経済学会秋季大会, 2006年11月25日, 広島修道大学
- ・「完全子会社化の実証分析」(単独), 日本金融学会秋季大会, 2006年9月9日, 小樽商科大学
- ・「完全子会社化の実証分析」(単独), 応用経済学会春季大会, 2006年6月11日, 福岡大学
- ・「Valuation Effects of New Equity Issues by Banks: Evidence from Japan」(共同), Portugal Finance Network Conference, 2006年7月7日, Universidade do Porto

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『茶の間の経済学』, 「消費者金融と経済学」, 2006年11月4日, 長崎市北公民館

井田 洋子

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「もうひとつの百年の歴史—1905～2005；フランスの政教分離法の百年」（単著），『経営と経済』第85巻3・4号，2006年2月24日。

[学外活動]

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県入札監視委員会，委員，2005年4月～2007年3月。
- ・長崎県個人情報審査会，委員，2006年4月～2008年3月。
- ・長崎市伝統的建造物群保存地区保存審議会，委員，2006年8月～2008年7月。
- ・長崎県弁護士会綱紀委員会，委員，2006年4月～2008年3月。

<講演会（社会的要請に基づく）>

- ・「教育基本法，平和憲法を考える」，長与9条の会『長与町「平和で安全な町宣言」を生かし憲法9条を守る会，一周年のつどい』2006年11月11日，長与町勤労福祉会館

<公開講座・市民講座>

- ・『現代社会と法』，「政教分離原則と首相の靖国参拝問題」2006年7月10日，長崎大学経済学部。
- ・『茶の間の経済学』，「フランスの社会・経済事情」2006年10月14日，長崎市北公民館。

上野 清貴

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『会計利益計算の構造と論理』（編著）創成社，平成18年3月。
- ・『公正価値会計の構想』（単著）中央経済社，平成18年10月。

<論文>

- ・「APV 会計と企業価値要素」（単著）『経理研究』第49号，平成18年1月。
- ・「CF 会計と FCF 会計」（単著）『経営と経済』第85巻第3・4号，平成18年2月。
- ・「DCF 会計と現代会計システム」（単著）『長崎大学経済学部研究年報』第22巻，平成18年3月。
- ・「CFROI 会計と業績評価」（単著）『経営と経済』第86巻第1号，平成18年6月。
- ・「CFROI 会計と企業価値評価」（単著）『経営と経済』第86巻第2号，平成18年9月。
- ・「現代会計システムの論理的構築」（単著）『会計』第170巻第4号，平成18年10月。
- ・「複合オプション会計と企業価値評価」（単著）『経営と経済』第86巻第3号，平成18年12月。

<科研費（採択のみ）>

- ・「現代会計システムの構造と論理に関する総合研究」（単）16年度～18年度。

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・『会計プロGRESS』，論文審査委員，平成15年9月～平成20年8月。
- ・『日本簿記学会年報』，編集委員，平成17年9月～平成19年8月。

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本会計研究学会，評議員会，評議員，平成15年9月～平成20年8月。
- ・日本簿記学会，理事会，理事，平成17年9月～平成19年8月。

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県出資団体点検評価委員会，委員長，平成15年4月～。

<公開講座・市民講座>

- ・『企業戦略とCSR』「企業戦略とリアル・オプション」平成18年6月9日，長崎大学経済学部。
- ・『経営意思決定の最前線』「EVA（経済付加価値）と企業価値評価」平成18年7月1日，長崎大学経済学部。
- ・『現代会計のダイナミズム』「現代会計と企業価値評価」平成18年7月21日，長崎大学経済学部。

内田 滋

〔学術・研究活動〕

<論文>

- ・ The Financial Institutions for Common People and Socio-economic Development Policies: Lessons from Some Selected Case Studies, (共著), *Journal of Business and Economics*, Vol.85, No.3・4, pp.471-482, 平成18年2月
- ・ 「生活者と保険—リスク・マネジメントと金融・保険サービス—」(単著)『生活経済学研究』第22・23巻合併号, 13-24頁, 生活経済学会, 平成18年3月
- ・ Corporate Social Responsibility: Benefit, Current Status and Future Trend, (共著), *Journal of Business and Economics*, Vol.86, No.3, pp.169-178, 平成18年12月

<辞書および総説(学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等)>

- ・ 「ITで社内外情報の効果的活用」(単著)『合理化』第47巻第3号, 大阪府経営合理化協会, 平成18年1月

<科研費(採択のみ)>

- ・ 「企業文化とガバナンスの相互影響関係に関する計量経済分析」, (共同), 平成16~18年度
- ・ 「金融機関の総合的な社会的責任に関する計量経済分析」, (単独), 平成18年度~21年度

〔学外活動〕

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・ 『金融経済研究』, 編集専門委員, 平成18年度

<学会などにおける委員としての活動>

- ・ 日本経済学会, 理事, 平成17~19年度
- ・ 生活経済学会, 副会長, 理事, 平成17~18年度
- ・ 文化経済学会<日本>九州部会, 運営委員, 平成18年度
- ・ 生活経済学会, 平成18年度全国大会(小樽商科大学), 討論者を担当, 滋賀大学 前田祐治氏「キャブタイプ保険の実現可能性」
- ・ 日本金融学会, 平成18年度春季大会(早稲田大学), 「地域金融」セッションの座長を担当。
- ・ 日本金融学会, 平成18年度秋季大会(小樽商科大学), プログラム委員および「金融機関Ⅱ」セッションの座長を担当。
- ・ 生活経済学会, 平成19年度全国大会(琉球大学)プログラム委員長ならびに開催準備委員を担当。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・ 長崎市, 雇用問題審議会, 会長, 委員, 平成18~19年度
- ・ 長崎市, 地域再生雇用創出協議会, 委員, 平成18~19年度

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・ 「経済と経営」, 長崎県高大連携事業『出張講座』, 平成18年8月4日, 長崎県立口加高等学校
- ・ 「高校生とディベート教育」, 年次職員研修会, 平成18年9月27日, 長崎県立上五島高等学校

<公開講座・市民講座>

- ・ 『長崎大学公開講座 現代経営 企業戦略とCSR(企業の社会的責任)』を主催, 「企業行動とCSR」を担当。平成18年5月26日, 長崎大学経済学部

宇都宮 譲

〔学術・研究活動〕

<報告書>

- ・ 「中小造船業における作業と自動化水準に見る熟練作業の特徴」『日本労務学会第36回全国大会研究報告論集』121-128頁。

Celia L. Umali

[学術・研究活動]

<論文>

- ・ Firm Strategy and the Asian Advantage: The Case of the Emerging Biotech Industry, *Annual Review of Southeast Asian Studies*, Vol.47, 2006, pages 1-20.
- ・ Firm Strategy in Alliance Formation in the Bio-Pharma Industry, *Journal of Business and Management*, December 2006, Vol.86, No.3, 69-96.

<ワーキング・ペーパー>

- ・ Strategic Alliances in the Asian Bio-Pharma Industry, *Discussion paper* no.2006-06, Faculty of Economics, Nagasaki University

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・ Member, Editorial Board, *International Journal of Revenue Management*, Inderscience

<Other Activities>

- ・ Volunteer, 2006 National Seminar, Catholic Commission of Japan for Migrants, Refugees and People on the Move, Nagasaki City

大内 和直

[学外活動]

<国、県、市町村、商工会議所、その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・ 長崎市個人情報保護・情報公開審査委員会
- ・ 長崎県弁護士会綱紀委員会予備委員

<公開講座・市民講座>

- ・ 『現代経営：経営戦略とCSR（企業の社会的責任）』『企業と消費者保護』平成18年6月2日，長崎大学経済学部新館209号室

大倉 真人

[学術・研究活動]

<著書>

- ・ 『公共経済学』（緒方隆・須賀晃一・三浦功 編），第13章「保険と年金」を執筆，勁草書房，2006年4月。

<論文>

- ・ 「生命保険会社の教育投資に関する経済分析」『経営と経済』第85巻第3・4号 2006年2月。
- ・ “The Stock Price Reaction to Changes in Accounting and Capital Regulation for Japanese Banks,” The 10th Annual Asia-Pacific Risk and Insurance Association (APRIA) (CD論文集), July, 2006 (jointly with Hiroyasu Yurikusa and Koji Kojima).
- ・ “Incentives of Compensatory Damages and Disincentives of Insurance Coverage in the Case of Defective Housing,” The 10th Annual Asia-Pacific Risk and Insurance Association (APRIA) (CD論文集), August, 2006.
- ・ “The Characteristics of Public and Private Life Insurance Demand in Japan”, The 10th Annual Asia-Pacific Risk and Insurance Association (APRIA) (CD論文集), August, 2006 (jointly with Ko Obara and Norihiro Kasuga).
- ・ 「民間保険と簡易保険の需要行動分析」『季刊 家計経済研究』第72号，2006年10月（春日教測氏との共著）。
- ・ 「生死混合保険に関する経済分析」『生命保険論集』第157号，2006年12月。
- ・ 「生命保険会社の販売努力に関する経済学的分析」『経営と経済』第86巻第3号，2006年12月。

<辞書および総説（学外の新聞，雑誌，学内報における解説，レポート，エッセイ等）>

・「簡易保険制度のあるべき姿」を議論するためには『郵政総研レビュー』，2006年1月。

<ワーキング・ペーパー>

・“Coopetitive Strategies on Japanese Insurance Fraud Problem,” Discussion Paper 2006・3, Faculty of Economics, Nagasaki University, April, 2006.

・“Allocation of Effort of Insurance Managers under Asymmetric Information: An Analytical Approach,” Discussion Paper 2006・8, Faculty of Economics, Nagasaki University, September, 2006. (jointly with Koji Kojima).

<科研費（採択のみ）>

・「保険金詐欺の経済分析－「契約内容登録制度」にかかる問題を中心として－」科学技術研究費補助金（若手研究B：課題番号17730263）（研究期間：2005年度～2007年度）。

<学術賞の受賞>

・（財）簡易保険文化財団「平成17年度調査研究優秀研究賞」，2006年2月（春日教測氏との共同受賞）。

<学会発表>

・“Incentives of Compensatory Damages and Disincentives of Insurance Coverage in the Case of Defective Housing,” 『2006年度応用経済学会春季大会』，2006年6月。

・“The Stock Price Reaction to Changes in Accounting and Capital Regulation for Japanese Banks,” 2006 China International Conference in Finance, July, 2006 (jointly with Hiroyasu Yurikusa and Koji Kojima).

・“The Stock Price Reaction to Changes in Accounting and Capital Regulation for Japanese Banks,” The 10th Annual Asia-Pacific Risk and Insurance Association (APRIA), July, 2006 (jointly with Hiroyasu Yurikusa and Koji Kojima).

・“Incentives of Compensatory Damages and Disincentives of Insurance Coverage in the Case of Defective Housing,” The 10th Annual Asia-Pacific Risk and Insurance Association (APRIA), August, 2006.

・“The Characteristics of Public and Private Life Insurance Demand in Japan”, The 10th Annual Asia-Pacific Risk and Insurance Association (APRIA), August, 2006 (jointly with Ko Obara and Norihiro Kasuga).

・“Coopetitive Strategies on Japanese Insurance Fraud Problem,” 2nd Workshop on Coopetition Strategy Toward a New Kind of Interfirm Dynamics, September, 2006.

・「なぜ事故情報は共有化されないのか？」『一橋大学保険ワークショップ』，2006年11月。

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

・長崎県立西陵高等学校において「経済学（部）において学ぶこと」を担当，2006年6月。

・長崎県立長崎西高等学校において「経済学（部）において学ぶこと」を担当，2006年9月。

・滑石公民館『輝く熟年大学』において「保険商品の種類とその特徴」を担当，2006年10月。

岡田 裕正

[学術・研究活動]

<著書>

・『演習簿記テキスト』（編著），中央経済社，平成18年10月

<論文>

・“Flexibility of Income Computational Structure of the Asset-and-Liability View”, CD proceedings of the 18th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues, 2006, 10

・「分記法と三分法についての一試論－利益概念の立場から－」（単著），経営と経済（長崎大学経済学会），第36巻第3号，129 - 144頁，平成18年12月

<学会発表>

- ・“Flexibility of Income Computational Structure of the Asset-and-Liability View”, the 18th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues, 2006/10/17, Ritz Carton Hotel, Maui, USA
- ・“Current State and Problems of Accounting System in Japan”, The 2nd East Asia Accounting & Finance Conference, 2006/12/9, Faculty of Economics, Nagasaki University

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本会計研究学会九州部会, 長崎大学幹事, 平成12年～。

<国際交流への貢献(各種イベント等での貢献)>

- ・The 2nd East Asia Accounting & Finance Conference, 事務局, 平成18年12月9日, 長崎大学経済学部

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・「商業高校と大学との連携の在り方～商業高校から大学進学を考える～」, 『第39回九州地区高等学校商業教育研究大会』シンポジウム, パネラーとして, 2006年8月17日, 北九州プリンスホテル

<公開講座・市民講座>

- ・『定年の経済学』, 「退職金の会計学」, 平成18年6月13日, 長崎大学経済学部本館203室
- ・『現代会計の基礎』, 「包括利益と利益のリサイクル」, 平成18年6月23日, 長崎大学経済学部新館209室
- ・『経営意思決定最前線』, 「わが国会計制度の課題－収益認識を中心として－」, 平成18年7月8日, 長崎大学経済学部新館101室

岡本 芳太郎

[学術・研究活動]

<判例研究>

- ・「商標製品の並行輸入におけるライセンス契約違反と適法性－フレッドペリー事件最高裁判決－」(単), 『経営と経済』85巻3・4号, 平成18年2月。

[学外活動]

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・「パテントプールと独占禁止法」, 有限責任中間法人大学技術移転協議会『第3回産学連携ネットワーク』, 平成18年9月9日, 明治大学アカデミーコモン。
- ・「技術移転とライセンス」, 社団法人発明協会アジア太平洋工業所有権センター『特許庁知的財産権研修(中国実務者コース)』, 平成18年11月13日, 弁理士会館。

<公開講座・市民講座>

- ・『長崎大学公開講座: 現代経営とCSR』, 「特許権の消尽とリサイクル」, 平成18年5月26日, 長崎大学経済学部。
- ・『長崎大学公開講座: 現代社会と法』, 「模倣品対策－水際規制を中心に」, 平成18年7月24日, 長崎大学経済学部。

小野 哲

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『演習簿記テキスト』(共), 中央経済社, 2006年10月。

<論文>

- ・「フレームワークとしての情報化プロセスモデル－情報化成功における管理会計の役割研究へ向けて－」(単), 『経理研究』49号(中央大学経理研究所), 2006年1月。

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『現代会計入門』, 「企業分析の方法と事例」, 平成18年7月14日, 長崎大学経済学部。

笠原 俊彦

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「藻利重隆博士における企業の指導原理とM. ヴェーバーの資本主義の精神」(単著)『経営と経済』第85巻第3・4号, 2006年2月
- ・「ヴェーバーにおける生産と収奪の営利(一)」(単著)『長崎大学経済学部研究年報』第22巻, 2006年3月
- ・「ヴェーバーにおける生産と収奪の営利(二)」(単著)『経営と経済』第86巻第1号, 2006年6月
- ・「ドイツ経営経済学説にみる近代資本主義の精神(一)」(単著)『経営と経済』第86巻第2号, 2006年9月
- ・「ドイツ経営経済学説にみる近代資本主義の精神(二)」(単著)『経営と経済』第86巻第3号, 2006年12月

神郡 克彦

[学術・研究活動]

<学術研究交流(学部が受け入れを認めた民間との共同研究を含む)>

- ・「ブランディング論」ジョイントセミナー(長崎大学経済学部および上海大学各教授・学生), 上海大学広告学部, 2006年9月26日

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・情報文化学会, 理事, 2006-2007
- ・日本ラトビア音楽協会, 顧問, 2006-2007

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・「イベントのマーケティング効果と変化する生活者」, 長崎ロータリークラブ, 2006年7月27日, ホテルニュー長崎。

<公開講座・市民講座>

- ・『長崎大学経済学部公開講座, 現代企業経営』, 「企業ブランド構築とCSR」, 2006年5月12日。
- ・『茶の間の経済学』, 「世界と日本のTV.コマーシャル-文化的視点の差異」, 2006年6月17日, 長崎北公民館。
- ・『電通寄付講座』, 「広告コミュニケーション文化論」, 2006年4月21日, 12月22日, 青山学院大学。

川村 雄介

[学術・研究活動]

<著書>

- ・「最新証券市場」(単著), 財経詳報社, 2006年4月
- ・「市場型間接金融の経済分析」(共著), 日本評論社, 2006年5月
- ・「金融商品取引法の重要ポイント54」(編著), ダイヤモンド社, 2006年8月

<論文>

- ・「The Japanese Asset Management Industry: Implications for Fostering Asset Management and Capital Markets in ASIA」(編著), Daiwa Institute of Research, July 2006
- ・「金融商品取引法を読み解く」(単著), 週刊ダイヤモンド, 2006年10月7日号

<研究ノート>

- ・「金融商品取引法の意義と課題」(座談会), 証券アナリストジャーナル, vol.44, No.11, 2006年11月

<論評>

- ・「十字路」日本経済新聞, 毎月1回

<学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>

- ・「アセアン諸国の証券市場—市場のグローバル化と日本の役割」, (財)日本証券経済研究所, 2006年4月6日, 東京証券会館

<学会発表>

- ・「金融システム市場化への制度的課題と限界—金融商品取引法の示唆するもの—」, 証券経済学会全国大会, 2006年10月15日, 名城大学

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県科学技術振興会議委員

<国際交流への貢献(各種イベント等での貢献)>

- ・新段階に入った日中経済関係(基調講演), アジアヒューマンネットワーク, 北京, 2006年10月23日

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・「投資の時代の意義」, 日本証券業協会, 『投資の日セミナー』, 2006年10月28日, 大阪朝日生命ホール

<公開講座・市民講座>

- ・『定年の経済学』, 「個人投資家と資産運用—市場型間接金融の時代」, 2006年6月27日, 長崎大学経済学部

Geoffrey C. Gunn

[学術・研究活動]

<Monographs>

- ・ *Timor-Leste: An Anthropology of War and Liberation*, Nagasaki University Southeast Asia Research Center Monograph, No. 41, 2006, 200 pp, biblio, index.

<Review Article>

- ・“The State of East Timor Studies After 1999,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.37, no.1, February 2007, pp.95-114.

<Book Chapters>

- ・“The Concept of ‘First Globalisation’” in *Treasures from Imperial China: The Imperial City and the Royal Danish Court*, The Royal Silver Vault/Det Kongelige Solukammer, Christianborg Palace/Christianborg Slot, Copenhagen, 2006, pp. 26-29 (Danish); 240-243 (English); 385-389 (Chinese).
- ・“Viqueque Rebellion” in Paulo Seixas Castro e Aone Engelenhoven (eds.) *Diversidade Cultural na Construção da Nação e do Estado em Timor-Leste*, Edições Universidade Fernando Pessoa, Porto, 2006, pp..

<Reviews>

- ・Review of *Islam in China: Hui and Uyghurs Between Modernization and Sinization/ Agriculture, Environment et Societes sur les Hautes Terres du Viet Nam/ Wooing the Generals: India's New Burma Policy*, *Journal of Contemporary Asia*, Vol.36, no.1, 2006, pp.121-27.
- ・Review of *The Gay Archipelago: Sexuality and Nation in Indonesia/ Gender and the Cycle of Life in the Soul in a Hmong Village*, *Journal of Contemporary Asia*, Vol.36, no.3, 2006, pp.406-410.
- ・Review of *The Canton Trade, Life and Enterprise on the China Coast, 1700-1845*, Hong Kong: Hong Kong University Press, 2006, in *Chinese Crosscurrents*, Macau, July-Sept., Vol. 3, no.3, 2006, pp. 101-02.

<Presentations>

- ・“Japanese Sook Ching Massacres in Wartime Singapore,” Comparative Research into Genocide and Violence, Hiroshima Peace Institute, Hiroshima, March 2006.
- ・“Indonesian Occupation of East Timor,” *Semanario Internacional*, “Cooperação Internacional e a Construção do Estado em Timor-Leste,” Departamento de Sociologia e Antropologia, Universidade de Brasília, Brasília, Brazil, 25-28 July 2006 (video conference).
- ・“World Trade Network and Hizen Porcelain,” 21st Century COE Program, Kyushu Sangyo University, Fukuoka, 30 September 2006.

[学外活動]

<Refereed Website articles>

- ・“Japan-Indonesian Relations: New Opportunities, New Tensions,” Japanfocus.org (2006)
- ・“Angkor and Beyond; the Asian tourism phenomenon,” Japanfocus.org (2006)
- ・“Crimes against Humanity: Japanese Diplomacy, East Timor and the ‘Truth Commission’” Japanfocus.org (2006)

菅家 正瑞

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『環境管理の成立』(単著), 千倉書房, 2006.10.19.

<論文>

- ・「環境管理と企業の生活能力」(単著), 『経営と経済』第85巻第3・4号, 2006.2.24.
- ・「企業の国際化と国際的環境管理」(単著), 『東南アジア研究年報』第47集, 2006.3.24.
- ・「企業の環境適応と生活能力」(単著), 『研究年報』長崎大学経済学部, 第22巻, 2006.3.24.
- ・「企業の維持とその生活能力」(単著), 『経営と経済』第86巻第1号, 2006.6.26.

<資料>

- ・『『企業メセナ』と『アブレウ博士』』(共著), 『経営と経済』第86巻第2号, 2006.9.20.
- ・「実験的メセナの実施報告」(単著), 『経営と経済』第86巻第3号, 2006.12.28.

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・九州経済学会, 理事, 2005～.

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎労働局地方労働審議会会長 (2001.10.～)
- ・長崎県職業能力開発審議会委員 (2001.11.～)
- ・長崎保護司選考会委員 (2006.8.1.～)

<公開講座・市民講座>

- ・メセナの実施『大好きな長崎へ音楽のプレゼント』, 2006.9.8～10. 黒崎東小学校, 長崎大学医学部・歯学部付属病院, 長崎県美術館, 旧上海香港銀行長崎支店跡記念館。
- ・『出前講義』, 「大学における授業とは何か」, 熊本県立八代高等学校, 2006.10.12.
- ・『出前講義』, 「大学で何を学ぶのか」, 熊本県立松橋高等学校, 2006.12.15.

工藤 健

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「財政赤字の持続可能性と構造変化：日本の長期統計を用いた分析」(単著), 『長崎大学経済学部研究年報』第22巻, 2006年3月.
- ・“Monetary and Fiscal Policy in a Liquidity Trap: The Japanese Experience 1999-2004,” (共著), in T.Ito and A.K.Rose (eds.) *Monetary Policy with Very Low Inflation in the Pacific Rim*, pp.233-273, October, 2006.

<報告書>

- ・『対外不均衡の経済学：米経常収支赤字を読み解く』(共著), 「米国の財政収支と経常収支：『双子』か『他人』か?」, 日本経済研究センター, 2006年3月.

<ワーキング・ペーパー>

- ・“Optimal Monetary Policy at the Zero Interest Rate Bound: The Case of Endogenous Capital Formation,” (共著), 一橋大学経済研究所, 2006年8月.

- ・“Asymmetric responses of East Asian currencies to the US dollar depreciation for reducing the US current account deficits,” (共著), 一橋大学経済研究所, 2006年10月.

<科研費(採択のみ)>

- ・「超低金利下の金融・財政政策の相互作用：最適政策ルールの視点からの理論・実証分析」, (単独), 平成18年度～平成19年度.

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・「経済学で考える：個人の選択からグローバル経済まで」, 2006年7月5日, 長崎県立松浦高校.

栗原 克文

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「発展途上国における税制・税務執行」(単著), 『経営と経済』第86巻第3号, 2006年12月.

<学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>

- ・“Taxation of Financial Markets”, OECD, 2006年10月9-13日, National Academy of Direct Taxes, Nagpur, India

小山 久美子

[学術・研究活動]

<著書>

- ・「国関税の政策と制度：伸縮関税条項史からの1930年スムート・ホーリー法再解釈」(単), 御茶の水書房, 2006年1月(平成17年度日本学術振興会科学研究費学術図書)

<学会発表>

- ・“US-Japan Comparative Trade History: Protective Policy of 1860s-1930s, (単),” Triangle Economic History Workshop (UNC-CH, Duke, NCSU), September 28, 2006 (University of North Carolina, Chapel Hill)

是枝 正啓

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本応用経済学会, 理事, 2006年6月～2008年6月.

近藤 隆史

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「業績評価システムのチェンジ研究」(共) 『経営と経済』85巻3・4号, 2006年2月24日
- ・「成果報酬制度の導入が及ぼす組織成果への影響：ある照明機器メーカー営業部門における事例研究」(共) 『経営と経済』86巻1号, 2006年6月26日

<ワーキング・ペーパー>

- ・「業績評価制度の変化に関する調査報告書」(共), 追手門学院大学, 2006年6月

<科研費(採択のみ)>

- ・「管理会計チェンジの理論的・実証的研究」(単), 採用期間：平成18年度から平成20年度

<学会発表>

- ・「業績評価と報酬システムの変化に関する実証研究」(共), 日本会計研究学会第65回大会, 2006年9月7日, 専修大学

宍倉 学

[学術・研究活動]

<論文>

- ・宍倉学・春日教測・鳥居昭夫「多メディア・多チャンネル化と放送市場の将来 ―有料放送加入の分析―」『経済政策ジャーナル』日本経済政策学会編, pp.60-63, 2006
- ・Kasuga, N. and M. Shishikura “Determinants of Profit in the Broadcasting Industry: Evidence from Japanese Micro Data,” Information Economics and Policy, Vol.18 No.2, Elsevier Publisher, pp.216-228, 2006

<学会発表>

- ・「情報通信メディアの代替・補完関係に関する実証分析」2006.2 西日本理論経済学会 於九州産業大学
- ・「放送市場の競争モデル分析」2006.5 日本経済政策学会 於九州共立大学
- ・「有料放送市場の競争状態に関する実証分析」2006.6 公益事業学会春季大会 於大東文化大学
- ・「ユビキタスネット社会における利用者の選好についての分析―次世代の携帯端末を例として―」2006.6 情報通信学会全国大会(共)高地圭介・高橋知樹
- ・“Pay TV Market Analysis in Japan --Market Environment of CATV and DBS--.”, 16th Biennial Conference of the International Telecommunications Society, (June 14-15, 2006), at Beijing, China
- ・“On the Productivity Growth of Economic System, --Complementary Effects between Hardware and Software--.”, European Association for Research in Industrial Economics, (August 25-27, 2006), at Amsterdam, Netherlands
- ・「分断された市場における加入者獲得競争」2006.11.25 応用経済学会秋季大会 於広島修道大学

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・公益事業学会九州部会, 会計監事

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県公衆浴場入浴料金協議会委員 任期平成19年1月25日～2月16日

柴多 一雄

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『行橋市史 中巻』(共著), 行橋市, 2006年3月。

<報告書>

- ・『武藤文庫新発見資料調査報告書』, 長崎大学附属図書館経済学部分館, 2006年12月。

<論評>

- ・「二〇〇五年の歴史学界―回顧と展望―」(共著), 『史学雑誌』115編5号, 2006年5月。
- <辞書および総説(学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等)>
- ・「秋月藩」, 『近世藩制・藩校事典』, 吉川弘文館, 2006年3月。
- ・「藩」, 『歴史学事典第13巻 所有と生産』, 弘文館, 2006年4月。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・社会経済史学会評議員, 平成17年4月～平成19年3月。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・福岡市文化財保護審議会委員, 平成18年5月24日～平成20年5月23日。
- ・朝倉市教育委員会「旧三奈木黒田家庭園」整備指導委員会委員, 平成18年6月1日～平成19年3月31日。

<公開講座・市民講座>

- ・『中央区ふるさとづくりセミナー』, 「福岡藩の天保改革」, 平成18年11月24日, 福岡市立中央市民セン

ター。

- ・『東西科学文化交流史』, 「幕末の対外危機と佐賀藩」, 平成18年12月2日, 長崎歴史文化博物館。

島田 章

〔学術・研究活動〕

<著書>

- ・『外国人労働者流入と経済厚生』(単著), 五絃舎, 平成18年2月。

<論文>

- ・「効率賃金と国際労働移動」(単著), 『経営と経済』(長崎大学経済学会) 85巻3・4号, 平成18年2月。
- ・「不熟練外国人労働者の受け入れ枠の変更が熟練自国人労働者と不熟練自国人労働者におよぼす影響」(単著), 『経営と経済』(長崎大学経済学会) 86巻1号, 平成18年6月。
- ・「金融政策と国際労働移動」(単著), 『経営と経済』(長崎大学経済学会) 86巻2号, 平成18年9月。

<ワーキング・ペーパー>

- ・“Inter-government Monetary Cooperation, Centralization of Monetary Policies, and International Migration of Labor” (単著), DISCUSSION PAPER SERIES (Faculty of Economics, Nagasaki University) No.2006-01, 平成18年1月。
- ・“Inter-government Monetary Cooperation, Centralization of Monetary Policies, and International Migration of Labor” (単著), DISCUSSION PAPER SERIES (Faculty of Economics, Nagasaki University) No.2006-07 (No.2006-01の改訂版), 平成18年7月。
- ・“Illegal Immigration, Immigration Quotas, and Employer Sanctions” (単著), DISCUSSION PAPER SERIES (Faculty of Economics, Nagasaki University) No.2006-09, 平成18年12月。

<科研費(採択のみ)>

- ・基盤研究(C)「マクロ経済モデルをもちいた国際労働移動の理論研究」(単独), 平成17年度から平成20年度まで。

<学会発表>

- ・“Inter-government Monetary Cooperation, Centralization of Monetary Policies, and International Migration of Labor” (単独), 5th Annual Meeting of the *European Economics and Finance Society*, 平成18年5月19日, カンディアマリホテル。

杉原 敏夫

〔学術・研究活動〕

<論文>

- ・‘An approach of electric power demand forecasting using data-mining method: a case study of application of data-mining technique to improve decision making’, (単著), *Int. J. Management and Decision Making*, Vol.7, No.1, pp.88-104, 2006

〔学外活動〕

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本ロジスティック学会常任理事 2004年4月～2007年3月
- ・日本経営工学会 論文審査委員 2004年1月～2006年12月

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県政策評価委員会 委員長 2006年8月～2008年3月

須齋 正幸

[学術・研究活動]

<論文>

- ・ “Volatility Spillover Structure of Stock and Foreign Exchange Rate Market between Korea, Japan and Hong Kong,” (single author) In Y. Kurihara *et.al* (eds,) *Global Information Technology and Competitive Financial Alliances*, Idea Group Inc, 2006, pp.162-181
- ・ 「市場に流入する情報と為替レートのボラティリティ」(単)『経営と経済』第85巻第3・4号 2006 pp. 355-381
- ・ “Empirical Analysis on the Volatility Spillover among Northeast Asian Stock Market with the effect of Bilateral Foreign Exchange Rate Fluctuation,” (single author) *Proceedings of the 18th The Asian Pacific Conference on International Accounting Issues*, Hawaii, 2006
- ・ “Tokyo or New York: Which lead Asian Foreign Exchange Market ?” (single author) *Proceedings of the 2nd East Asia Accounting and Finance Conference*, Nagasaki University, Nagasaki, 2006, pp.143-181
- ・ 「東アジア証券市場への東京・ニューヨーク市場の影響と相互依存関係」(単)『クレジット研究』第37号 2006年12月

<報告書>

- ・ *The Japanese Asset Management Industry: Implication for Fostering Asset Management and Capital Markets in Asia*, (co-author) Report submitted to ADB and ASEAN, Daiwa Institute of Research, 2006

<科研費(採択のみ)>

- ・ 基盤研究B 課題: AHPによる外為市場のセンチメントの測定と為替ディーラーの投資行動バイアスの研究(共同)2006-2009

<学術研究交流(学部が受け入れを認めた民間との共同研究を含む)>

- ・ Conference Chair of *The 2nd East Asia Accounting and Finance Conference International Conference*, (Tront University, Fudan University, Shanghai University of Finance and Economics, Yonsei University, Hannan University, Hitotsubasi University, Hokkaido University, Chiba Keizai University) Dec.2006

<学会発表>

- ・ 『株式投資単位引き下げと流動性 -ティック・データを利用した実証分析-』(共同)第22回生活経済学会研究大会 2006
- ・ コメンテーター 和田良介氏(小樽商科大学)『外為予想相場のばらつきと最適なビッドアスク乖離幅』第22回生活経済学会研究大会 2006
- ・ 共通論題討論者 テーマ「生活経済学教育と大学改革」村本孜氏(成城大学)『生活経済学の新たな視点を目指して-イノベーションの重要性-』第22回生活経済学会研究大会 2006
- ・ コメンテーター 土村宜明(横浜国立大学) 山田聖子氏(オウル大学)『転換社債発行のアナウンスメント効果-転換価額修正条項の意味-』日本金融学会秋季大会 2006
- ・ “Empirical Analysis on the Volatility Spillover among Northeast Asian Stock Market with the effect of Bilateral Foreign Exchange Rate Fluctuation,” (single) *The 18th The Asian Pacific Conference on International Accounting Issues*, Hawaii, 2006
- ・ “Tokyo or New York: Which lead Asian Foreign Exchange Market ?” (single) *2nd East Asia Accounting and Finance Conference*, Nagasaki University, Nagasaki, 2006
- ・ Discussant: Yue,L, (Toront University) “Valuing IPOs Using Price-Earnings Multiples Disclosed by IPO Firms in an Emerging Capital Market” *2nd East Asia Accounting and Finance Conference*, Nagasaki University, Nagasaki, 2006

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・ 生活経済学会 理事 2005年から2007年まで

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

・長崎市行政改革審議会 会長 2006年から2年間

<報告書(国, 県, 市町村, 企業等からの依頼による)>

・『行政改革への提言書』(共) 長崎市長

<国際交流への貢献(各種イベント等での貢献)>

・『環黄海学長フォーラム』セッションチェア『環黄海科学技術交流会議』中国国際部・韓国経済産業省・九州経済産業局 山東大学 2006

<公開講座・市民講座>

・『経営意思決定の最前線』, 「東アジア金融市場の相互依存性」, 平成18年7月8日, 長崎大学経済学部。

高木 かおる

[学術・研究活動]

<著書>

・『経済成長と動学』(共), 勁草書房, 2006年9月。

<論文>

・「企業の異質性および直接投資の選択と均斉成長」(単), 『経営と経済』第85巻第3・4号(第255号), 平成18年2月。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

・長崎県固定資産評価審議会, 委員, 平成12年12月~平成18年11月。

・長崎県ながさき「食と農」支援事業プロポーザル企画審査委員会, 委員, 平成17年8月~平成19年3月。

・長崎県建築審査会, 委員, 平成13年8月~平成19年7月。

高倉 泰夫

[学術・研究活動]

<論文>

・「物象化と競争と企業統治」(単著), 『経営と経済』第86巻第3号, 2006年12月。

田口 信夫

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

・長崎大学公開講座『世界と日本の経済動向』において「現代世界経済とアメリカ」を担当, 平成18年12月, 長崎大学経済学部。

・長崎市公民館講座『茶の間の経済学』において「現代世界経済とアメリカ」を担当, 平成18年11月, 長崎市北公民館。

立山 柚彦

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

・長崎市入札監視委員会委員(平成16年4月~20年3月)

・対馬市入札監視委員会委員(平成17年9月~19年7月)

<公開講座・市民講座>

・長崎大学公開講座『世界と日本の経済動向』「インド経済の光と陰」平成18年11月10日, 経済学部新館209号演習室

・長崎市北公民館講座『茶の間の経済学』「インド経済と日本」平成18年6月17日, 北公民館

田中 謙

[学術・研究活動]

<論文>

・「自治体環境アセスメント制度の特徴と課題」(単),『環境条例四季報』12巻,2006年7月。

<判例研究>

・「風俗営業許可と第三者の原告適格」(単),『行政判例百選Ⅱ [第5版]』[別冊ジュリスト182号],2006年6月。

<書評>

・【書評】北村喜宣著『プレップ環境法』(弘文堂,2006年),『産業と環境』35巻5号,2006年5月。

<科研費(採択のみ)>

・「環境政策における情報手法の役割」(単),科学研究費補助金 若手研究(B),2004-2006年度(ただし,2006年度は,在外研究のため辞退)。

・「海洋環境保全・修復の法システムの構築」(単),文部科学省 国際化推進プログラム(海外先進研究実践支援),2006年度

[学外活動]

<国,県,市町村,商工会議所,その他各機関での委員会および審議会の委員>

・長崎県介護保険審査会委員,2004年4月~2006年8月。

<公開講座・市民講座>

・長崎大学公開講座『現代社会と法』,「敬老パスは福祉施策といえるのか?」,2006年6月19日,長崎大学。

津留崎 和義

[学術・研究活動]

<科研費(採択のみ)>

・「最適停止問題における複合評価系とその数理ファイナンスへの応用」(単),平成16~18年度

<学会発表>

・「Dynamic Pricing of Look-back and Barrier Option」(共),EURO XXI: 21st European Conference on Operational Research, Reykjavik, Iceland, July 2-5, 2006

東條 正

[学術・研究活動]

<著書>

・『安場保和伝』(共著),藤原書店,2006年4月。

[学外活動]

<国,県,市町村,商工会議所,その他各機関での委員会および審議会の委員>

・「長崎県立大学施設等在り方検討委員会」,委員,平成18年9月~

成田 康郎

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

・長崎大学公開講座『世界と日本の経済動向』,「アジア経済と日本経済」,2006年11月17日,長崎大学経済学部。

・市民講座「日本経済をめぐる動向」,2006年11月11日,長崎北公民館。

成田 真樹子

[学外活動]

<講演会 (社会的要請に基づく) >

- ・「国際貿易の理論と現実」, 『志高カレッジ (高大連携出前講義)』, 平成18年9月28日, 志布志高校
- ・「国際資本移動の理論と現実」, 『西高夢ナビ特別講義』, 平成18年11月8日, 大分西高校

<公開講座・市民講座>

- ・長崎市公民館講座『茶の間の経済学』, 「EU 政治・経済の最近の動向」平成18年5月27日, 長崎市北公民館
- ・公開講座『世界と日本の経済動向-2006年秋-』, 「EU が直面する課題-拡大と深化に向けて」, 平成18年10月27日, 長崎大学経済学部

Dipak R. Basu

[学術・研究活動]

<Publications>

- ・Jinnah and Secularism, *The Organiser*, 24&31 July, 2005
- ・More on Netaji: Did Nehru Suppress Facts, *The Organiser*, 18 September, 2005
- ・Historical Distortions and Mangal Pandey, *The Organiser*, 2 October, 2005
- ・The U.S. dollar and International Politics, *Keiei To Keizai (Journal of Business and Economics)*, Vol. 85 No.3-4, February 2006, Japan
- ・Free Trade: The Other Side of the Coin, *The Statesman*, 4 March, 2006
- ・Karl Marx and India, *Tonan Ajia Kenkyu Nenpo (Annual Review of Southeast Asian Studies)*, Vol.47, March 2006, Japan
- ・Evaluation of Millennium Goals of the U.N for Africa, *Annual Review of Economics*, Vol.22, March 2006, Japan
- ・Nuclear Deal, *The Statesman*, 17&18 April, 2006
- ・American Ally, *The Statesman*, 22&23 May, 2006
- ・Cultural Imperialism, *The Statesman*, 21 July, 2006
- ・Ideology and Confusion, *The Statesman*, 8 August, 2006
- ・Additive action: Experiments in the Former Soviet Union, Japan & America, *The Statesman*, 21&22 September, 2006

<Research Grant Received>

- ・Japan: Ministry of Education: Relationship between Corporate governance System and Operational Management and Organizational Culture in Leading Japanese Companies in Home and in Foreign Locations, 2004-2006. (共)

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・Advances in Analytical Economics, Editor in Chief, April 2006- March 2007

深浦 厚之

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「県下初の本格的PFI事業 -新長崎市立図書館への期待-」長崎経済研究所「ながさき経済」平成18年2月
- ・「流動性概念と債権流動化 -流動性選好説と貨幣交換-」長崎大学経済学会「経営と経済」第85巻第3・4合併号 平成18年2月
- ・「郵政事業の構造と経済厚生 -金融コングロマリットの視点から」簡易保険文化財団研究助成論文

平成18年 8月

- ・「事業の証券化の具体的手法と課題」月刊ターナラウンドマネージャ 8月号, 銀行研修社 平成18年9月
- ・「流動性概念と債権流動化 -債権流動化スキームとの関連-」長崎大学経済学会「経営と経済」第86巻第1号 平成18年6月
- <学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>
- ・「地域活性化と公共図書館の役割」長崎県立図書館在り方懇話会, 平成18年9月13日
- <学会発表>
- ・学会シンポジウムパネリスト「市場経済における格差を考える」応用経済学会(福岡大学)平成18年6月11日
- ・「報道資料から見た“証券化”定着の経緯」日本金融学界西日本部会(九州大学)平成18年7月29日
- [学外活動]
- <国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>
- ・長崎県立図書館在り方懇話会, 委員, 平成18年4月から平成19年3月まで

福川 裕徳

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「監査人による財務情報の目的適合性への関与の類型化」『経営と経済』(長崎大学経済学会)(第85巻第3・4号), 2006年2月, 281-306頁.
- ・Audit Program Plans and Audit Risk: A Study of Japanese Practice. *International Journal of Auditing* Vol.10 No.1 (March 2006): 41-65. (with T. J. Mock and A. Wright, first author)
- ・「監査実務におけるリスク・アプローチの展開 -従来型リスク・アプローチからビジネスリスク・アプローチへ-」, 『産業経理』(第66巻第1号), 2006年4月, 83-92頁.

<科研費(採択のみ)>

- ・若手研究(B) 課題: 監査人の外見的独立性への影響要因: 財務情報利用者と監査人の視点からの実験研究 2005年度-2007年度.

<学会発表>

- ・Audit Judgments Using Belief versus Probability Assessment, 2006 International Symposium on Audit Research (refereed conference), Sydney(Australia), June 23, 2006.

福澤 勝彦

[学術・研究活動]

<科研費(採択のみ)>

- ・「集团的及び個別的労使紛争に係わる司法と行政による問題解決制度の理論的・実証的研究」(共), 平成17年~20年
- ・東アジアのフラグメンテーション貿易による環境負荷拡散と国際的環境技術政策の研究(代表藤田渉)。平成16~19年

<学会発表>

- ・藤田渉・福澤勝彦『国際産業連関表を用いた vertical specialization share; measuring international fragmentation of prduction using Asian InternationalI-O table』, 環太平洋産業連関分析学会第17回(2006年度)大会, 平成18年10月28-29日, 沖縄国際大学

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県労働委員会 公益委員(会長代理)平成17年11月1日~平成19年10月31日

<報告書（国，県，市町村，企業等からの依頼による）>

- ・「労働委員会制度創設60周年記念誌年報」（平成17年度版），長崎県労働委員会事務局，題名「和解と対立」，2006年3月

<公開講座・市民講座>

- ・『長崎大学経済学部公開講座－シルバーエイジの経済学』「定年退職と雇用－経済学からのアプローチ」
2006年7月4日，長崎大学経済学部

藤田 渉

〔学術・研究活動〕

<論文>

- ・「国際産業連関表を用いた vertical specialization share の拡張」，『経営と経済』第85巻 3・4号，平成18年2月。

<科研費（採択のみ）>

- ・（基盤研究(B)）「東アジアのフラグメンテーション貿易による環境負荷拡散と国際的環境技術政策の研究」（研究代表者，共同），平成16年度～平成19年度。

<学会発表>

- ・「国際産業連関表を用いた vertical specialization share の拡張」，応用経済学会（2006年度春季大会），平成18年6月11日，福岡大学。
- ・「国際産業連関表を用いた vertical specialization share の拡張」，環太平洋産業連関分析学会（第17回（2006年度）大会），平成18年10月29日，沖縄国際大学。

〔学外活動〕

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市水道事業運営懇話会，委員，平成16年6月～平成19年1月。
- ・長崎市政策評価システム委員会，委員長，平成18年7月～平成19年3月。
- ・長崎市建築審査会委員（経済），委員，平成17年6月～平成19年5月。
- ・道州制シンポジウム in 長崎（九州市長会），コーディネーター，平成18年10月12日。

<公開講座・市民講座>

- ・『2006年度長崎大学公開講座 定年の経済学－シルバーエイジ・エコノミクス－』，「生涯教育マーケット」，平成18年7月11日，長崎大学経済学部。

藤野 哲也

〔学術・研究活動〕

<論文>

- ・「日本企業における連結経営－グローバル化と経営意思決定－」（単著），『経営と経済』，第86巻 第3号（今田正教授退官記念号），258号，2006年12月。

<辞書および総説（学外の新聞，雑誌，学内報における解説，レポート，エッセイ等）>

- ・「グローバル戦略」「グローバルシチズンシップ」「カントリーリスク」，『経営教育事典』日本経営教育学会，25周年記念編纂委員会 編集，学文社，2006年。

<学会発表>

- ・「日本企業における連結経営－製造業11社の実態調査から－」，多国籍企業研究会・西部部会，2006年9月23日，九州大学。

〔学外活動〕

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・社団法人 世界経営協議会「学界研究協力者」，同協会の経営調査活動の企画・助言など，任期ナシ（無期限）。
- ・経済産業省・九州経済産業局「九州アジアビジネス研究会」委員，2006年3月31日まで。

- ・ジェトロ「外資系企業誘致ワーキンググループ」コーディネーター，2007年3月31日まで。
- ・長崎県「市町村合併審議会」副座長（有事において座長の役割を代行する者），2008年7月20日まで。
- ・長崎市「政治倫理審査会」委員，2007年2月24日まで。

古山 正明

[学外活動]

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県弁護士会懲戒委員会，予備委員，2年

<公開講座・市民講座>

- ・『現代社会と法』，「ライブドア事件が語るもの」，2006年6月5日，長崎大学経済学部。
- ・『高校生公開講座』，「ようこそ法律学の世界へ」，2006年6月26日，長崎大学経済学部。
- ・『高校生公開講座』，「歴史と宗教から見た法律学」，2006年7月24日，長崎大学経済学部。
- ・『高校生公開講座』，「ライブドア事件が語るもの」，2006年9月4日，長崎大学経済学部。

丸山 真純

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『教養としてのコミュニケーション』（教科書）（共），北樹出版，2006年4月。

<学会発表>

- ・「都市社会とコミュニケーション：文化と社会構造の観点から」（単），日本コミュニケーション学会，2006年6月17日，桜美林大学（東京都町田市）。

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・『Kyushu Communication Studies』，編集委員，2年。

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本コミュニケーション学会，運営委員会，委員，2年。

丸山 幸宏

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“Positively bitone sequential decision process”，In Wataru Takahashi and Tamaki Tanaka (Eds.)，Proceedings of the Fourth International Conference on Nonlinear Analysis and Convex Analysis, Yokohama Publishers (2006)，pp. 341-353。

<科研費（採択のみ）>

- ・「ネットワーク DEA による地域再生政策のモデル化と効果計測手法の研究」（共同），平成18年度～平成21年度。

<学術研究講演（大学，学会，研究機関等）>

- ・「帰納的両調逐次決定過程の最適方策を求めるアルゴリズム」第10回計画数学関係研究集会「数理モデルによる決定とその応用」，平成18年10月21日。

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・『Interdisciplinary Journal of Information, Knowledge and Management』，Advisory Board.
- ・『International Journal of Revenue Management』，Editorial Board.

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本ロジスティクスシステム学会，理事。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県立長崎東中学校評議員, 長崎県教育委員会, 平成18年4月1日～平成19年3月31日。
- ・長崎県立長崎東高等学校評議員, 長崎県教育委員会, 平成18年4月1日～平成19年3月31日。

<公開講座・市民講座>

- ・『経営意思決定の最前線』, 「階層分析法による意思決定」, 平成18年7月8日, 長崎大学経済学部。

村田 省三

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『ゲームと情報の経済学』(共編著), 勁草書房, 2006年6月

<論文>

- ・「外部経済と後手有利性について」(単著)『経営と経済』, 第85巻第3・4号, 2006年2月

<科研費(採択のみ)>

- ・「集团的及び個別的労使紛争に係わる司法と行政による問題解決制度の理論的・実証的研究」(共同), 平成17年度～平成20年度

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本応用経済学会, 理事, 2006年4月1日～2007年3月31日

村田 嘉弘

[学術・研究活動]

<論評>

- ・「可積分系・パウルベ方程式とツイスター」(単), 『数理科学』第44巻10号, 2006年10月1日

<学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>

- ・「Matrix Painleve System と GCHS」(単), 熊本大学理学部数学科, 2006年3月17日
- ・“On Matrix Painleve Systems” (単), Isaac Newton Institute for Mathematical Science, Cambridge University, 2006年9月20日, 研究集会“Painleve Equations and Monodromy Problems: Recent Developments”招待講演

<学会発表>

- ・「行列型パウルベ方程式について」(単), 日本数学会2006年度年会, 2006年3月28日, 中央大学理工学部, 特別講演(招待講演)

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『新次元のデータ分析法「データマイニング」入門』, 「データマイニングの世界」, 2006年7月11日, 長崎大学経済学部

森永 春乃

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・留学生教育学会(事務局: 東京医科歯科大学留学生センター内), 理事, 平成16年3月～。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市ひとつくり事業検討委員会, 委員, 平成16年5月～。

<国際交流への貢献(各種イベント等での貢献)>

- ・長崎国際ソロプチミスト青少年フォーラム(毎年1回開催)コーディネーター, コーディネート及び審査員を担当, 平成8年～。

森保 洋

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『基本計量経済学』（共著），勁草書房，2006年3月

<論文>

- ・「金先物市場の日中取引変動と取引時間間隔」（単独），『経営と経済』，第85巻第3・4号，2006年2月，pp.409--430

<報告書>

- ・“The Japanese asset management industry: Implications for fostering asset management”（共著），“The empirical analysis on mutual fund and investment trust markets in the U.S. and Japan”，ASEAN，2006年6月

<ワーキング・ペーパー>

- ・「株式市場のモーメンタム効果－我が国株式市場における実証分析」（共著），山口大学経済学会，2006年11月

<科研費（採択のみ）>

- ・「株式投資単位引き下げが流動性に与える影響に関するティック・データを用いた実証分析」（単独），2005年～2006年

<学会発表>

- ・「金先物市場のマイクロストラクチャー：超高頻度観測データを利用した実証分析」（単独報告），西日本理論経済学会第128回例会，九州産業大学，2006年2月18日
- ・「株式投資単位引き下げと流動性－ティック・データを利用した実証分析－」（共同報告），生活経済学会第22回研究大会，2006年6月10日，小樽商科大学
- ・「日本の株式市場のモーメンタム効果」（共同報告），証券経済学会第66回大会，名城大学，2006年10月15日
- ・「株式市場のモーメンタム効果－我が国株式市場における実証分析－」（共同報告），日本応用経済学会2006年度秋季大会，2006年11月26日

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『新次元のデータ分析法「データマイニング」入門』，「テレビ視聴率の調査法－推測統計の考え方－」，2006年8月1日，長崎大学経済学部

山口 純哉

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「第1章 九州の経済社会状況」（単），伊佐淳・松尾匡・西川芳昭編『市民参加のまちづくり[コミュニティビジネス編]』，創成社，平成18年12月所収。
- ・「第2章 コミュニティビジネスの事例－NPO法人子育てネットながさき－」（単），伊佐淳・松尾匡・西川芳昭編『市民参加のまちづくり[コミュニティビジネス編]』創成社，平成18年12月所収。

<報告書>

- ・『おおせとみらいビジョン策定事業報告書』（単），大瀬戸町商工会，平成18年3月。
- ・『新上五島町橋渡し（経営戦略）事業報告書』（単），（新上五島町商工会），平成18年3月。

<辞書および総説（学外の新聞，雑誌，学内報における解説，レポート，エッセイ等）>

- ・「市民参加のまちづくりから見た長崎さるく博'06の成果」（単），『環境共生』vol.13，平成18年12月。

<科研費（採択のみ）>

- ・「産地型産業集積とコミュニティ・ビジネス」（単），平成17～平成18年度。

<学術研究交流（学部が受け入れを認めた民間との共同研究を含む）>

- ・「特産品販売ビジネスモデル策定事業にかかる調査研究」, 受託研究, 小値賀町商工会, 平成18年9月～平成19年3月。

<学会発表>

- ・「(コメンテーター) ヒューマン・コンタクトと“長崎さるく博” - 今後のまちづくりに向けて -」(共), 日本環境共生学会, 平成18年9月29日, メルカ築町。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本環境共生学会, 日本環境共生学会第9回学術大会実行委員会, 副委員長, 平成18年3～9月。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市 TMO チャレンジショップ実行委員会(長崎商工会議所), 委員長, 平成14年4月～
- ・長崎県コミュニティビジネス起業化トライ支援事業審査サポート委員会(長崎県), 委員長, 平成15年4月～
- ・長崎さるく博'06推進委員会(長崎市), 委員, 平成16年4月～
- ・長崎市 TMO 協議会(長崎商工会議所), 委員, 平成17年4月～
- ・地域雇用創造アドバイザー(長崎労働局), 平成17年4月～
- ・長崎歴史文化観光検定実施検討委員会(長崎商工会議所), 委員, 平成17年5月～
- ・産業人材育成ネットワーク協議会(長崎商工会議所), 委員, 平成17年5月～
- ・長崎県観光マイスター認定制度創設・検討委員会(長崎県観光連盟), 委員, 平成17年7月～
- ・ながさき歴史発見・発信事業推進委員会(長崎県), 委員, 平成17年10月～
- ・長崎市営住宅審議会(長崎市), 委員, 平成17年10月～
- ・産業人材育成ネットワーク協議会作業部会(長崎商工会議所), 委員, 平成17年10月～
- ・長崎県地域活性化検討委員会(長崎県), 委員長, 平成18年12月～平成19年3月。
- ・長崎県にぎわいの都市づくり検討委員会(長崎県), 副委員長, 平成18年11月～
- ・まちなか再生計画策定検討委員会(長崎市), 委員, 平成18年10月～
- ・諫早湾公募基準等検討協議会(長崎県), 委員, 平成18年3月～平成18年10月。
- ・有明海沿岸域の将来を語る懇話会(長崎県), 委員, 平成18年4月～
- ・“ながさき田舎暮らし”協働会議(長崎県), 委員, 平成18年5月～
- ・小値賀・上五島空港利活用策検討委員会(長崎県)委員, 平成18年8月～11月。
- ・長崎県NPO・ボランティア活動推進協議会(長崎県), 委員, 平成18年9月～平成19年3月。
- ・長崎県市町村合併推進審議会(長崎県), 委員, 平成18年7月～
- ・県民ボランティア支援センター運営委員会(長崎県社会福祉協議会), 委員長, 平成18年7月～

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・「長崎県経済の現状と課題」, 長崎フォーラム『長崎フォーラム例会』, 平成18年6月12日, 長崎全日空ホテルグラバービル。
- ・「異業種連携と地域経済の活性化」, 小値賀町じげもん振興協議会『協議会設立講演』平成18年6月29日。
- ・「産業連関表とは何か?」, 長崎市統計課『産業連関セミナー』, 平成18年7月31日, 長崎交通産業会館。
- ・「中心市街地活性化」, 長崎県中小企業家同友会『宵学のススメ』, 平成18年9月19日, 長崎市民会館。
- ・「縦・横・斜のネットワークとまちづくり」, 長崎県青年団連合会『第38回九州青年祭 in NAGASAKI』, 平成18年10月7日, 佐世保青少年の天地。
- ・「大学生によるコミュニティビジネス」, 長崎ウエスレヤン大学『NICE キャンパス2006長崎コーディネーター科目』, 平成18年10月18日, アエル諫早。
- ・「コミュニティビジネスとまちづくり」, 長崎大学生涯学習教育研究センター『地域づくりと生涯学習』, 平成18年10月30日, 長崎大学生涯学習教育研究センター。
- ・「三法改正とまちづくり」, 十八銀行思案橋支店『思友会例会』, 平成18年12月8日, 十八銀行思案橋支店。

<公開講座・市民講座>

- ・『高大連携事業に係る平成18年度経済学部公開講座』, 「豊かかってなんだろう?」, 平成18年4月24日, 長崎大学経済学部。
- ・『高大連携事業に係る平成18年度経済学部公開講座』, 「豊かになるためにはどうすればいいの?」, 平成18年5月1日, 長崎大学経済学部。
- ・『平成18年度長崎市北公民館春の講座-茶の間の経済学-』, 「地域経済と文化~長崎県美術館が地域にもたらすもの~」, 平成18年5月13日, 長崎市北公民館。
- ・『高大連携事業に係る平成18年度出前講義』, 「地域経済の現状と課題-長崎県経済を例に-」, 平成18年5月19日, 長崎県立島原商業高等学校。
- ・『平成18年度長崎大学公開講座-定年の経済学』, 「シニア世代とコミュニティビジネス」, 平成18年6月13日, 長崎大学経済学部。

山下 耕治

[学術・研究活動]

<報告書>

- ・『地方自治体と住民間のコミュニケーションの多様性と, 地方自治体のパフォーマンス(効率性)に関する実証的研究』(共), 財団法人大川情報通信基金, 2006年9月。

<科研費(採択のみ)>

- ・『地方分権下における政府行動の実証研究』(単), 平成18年度~20年度。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・『少子高齢化の下での持続的成長と財政再建に関する国際共同研究調査』における「国・地方の財政制度改革」グループ委員, 内閣府経済社会総合研究所。

吉田 省三

[学術・研究活動]

<論文>

- ・『イタリア司法組織法改悪と司法官の自治』(単), 民主主義科学者協会法律部会機関誌〔年報〕『法の科学』37号, 2006年11月。

<学会発表>

- ・『長崎県における大型店問題とまちづくり』(単), 日本科学者会議『第24回九州シンポジウム』, 2006年11月26日, 大分市コンパルホール。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県弁護士会懲戒委員会, 委員, 2006年03月01日-2008年02月29日。
- ・雲仙市入札制度検討委員会, 委員, 2006年07月-2006年12月。

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・『これ以上大型店は必要か』, 長崎民主商工会『長崎まちづくりシンポジウム』, 2006年8月20日, 長崎ブリックホール・国際会議場。

<公開講座・市民講座>

- ・『長崎市・消費者大学』, 「『規制緩和』と消費者の権利」, 2006年06月19日, 長崎市中央公民館
- ・『長崎市中央公民館・秋の講座「くらしの法律」』, 「契約の法律-消費者を保護する制度-」, 2006年10月02日, 長崎市中央公民館

吉田 高文

〔学術・研究活動〕

<著書>

- ・ 櫻井克彦編著『現代経営学－経営学研究の新潮流－』（共著），税務経理協会，平成18年9月。
- ・ 牟田正人・池上恭子編『企業財務制度の構造と変容』（共著），九州大学出版会，平成18年11月。

<報告書>

- ・ 『リスク・インセンティブ問題における債務免除のあり方』（単著），財団法人簡易保険文化財団，平成18年7月。